

議会審議をピックアップ!

こんなことが決まりました

3月11日から開会した「平成27年第1回熊野町議会定例会」に、町長から、議案27件、諮問1件が提出され、慎重な審議を行い、全て原案どおり可決しました。

道路占用料引き下げ（一部を除く）

熊野町道路占用料に関する条例（一部改正）

道路占用料の算定の基礎となる地価水準や地価に対する賃料の水準の変動等を反映するため道路法施行令が改正されました。
これにより国との整合性を図るため本町の占用料の単価を見直します。

『道路占用』について

道路上や上空、地下に一定の施設を設置し、継続して道路を使用することをいいます。

- 【該当例】
- 道路に電柱・電線・変圧塔等を設置
 - 道路の地下にガス管・上下水道管等を埋設

地域包括支援センターの基準等を整備

熊野町地域包括支援センターの人員及び運営の基準に関する条例（新設）

これまで、地域包括支援センターは、介護保険法施行規則に基づき運営していました。
しかし、介護保険法の一部改正により、人員及び運営の基準を町が条例で定めることになりました。（役割・職員体制等は現状と変わりません。）

『地域包括支援センター』とは？

【設置主体】
熊野町（福祉課内に設置）

【役割】
住民の健康と生活の安定のために必要な支援を行い、保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援します。

【職員体制】
保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（各1名を配置）

- 【業務内容】
- 総合相談支援
 - 介護予防支援
 - 介護予防マネジメント
 - 権利擁護など

『くまの産業団地』1区画を売却

町が深原地区に造成した「くまの産業団地」4区画のうち1区画の売却が決まりました。
これにより残る区画は2区画となりました。

【面積】 3千753・67㎡

【価格】 8千708万5千144円

【相手方】 広島市東区矢賀新町五丁目7番4号 株式会社ロジコム

Q. 販売価格の決定方法は

A. 整備した後土地の鑑定評価を行い価格を決定しました。

Q. 1坪当たりの価格は

A. 1坪当たりの単価は7万6千860円。

Q. 残る2区画の販売の見通しは

A. 購入に前向きな話があり秋までには、完売する予定です。



地域密着型サービスの定員等を変更

熊野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例（一部改正）

介護保険法施行規則の改正により、条例の一部を改正しました。

主な改正点

【小規模多機能型居宅介護】

登録定員を25人から29人以下とし、それに併せて通所サービスの利用定員を見直ししました。

【認知症対応型共同生活介護】

事業所が有する共同生活住居（ユニット）の数を現行1又は2を、特別な事情がある場合には3まで認めることとしました。

教育長の任命を同意

教育長 林 保氏
（任期は平成27年4月からの3年間）

教育長の職はこれまで、教育委員会委員の中から選任された方が就任していましたが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育長は、町長がその選任を議会に諮り、任命することになりました。

介護保険料の増額と

介護認定審査会の委員の増員

熊野町介護保険条例（改正）

■保険料

65歳以上の人が支払う介護保険料は、3年に一度見直しが行われます。この度、平成27年度から3年間の保険料額が決定しました。

介護給付費の増加や65歳以上の負担割合が21%から22%になったこと等により、基準ベースで、年額6万8千355円、これまでと比べ、1千401円の増額となります。

■介護認定審査会の委員

高齢化の進展により、要介護認定の申請件数が増加しています。
このため、審査結果を迅速に出すために、合議体の数を3から4に委員定数を15人から20人に増員します。

『介護認定審査会』とは？

介護保険の給付を受けるため、どれくらい介護が必要か審査します。

緊急経済対策交付金を活用

プレミアム商品券の発行助成など

平成26年度一般会計補正予算は、執行残に伴う不用額の減額等により、1千604万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を78億1千755万2千円としました。

■ピックアップ

全体では、予算を減額しましたが、国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した事業を実施するために、次のように予算を増やした事業もあります。

事業内容	予算額
○ プレミアム商品券の発行助成	3,392 万円
○ 熊野筆のPRと消費拡大のための購入費助成	714 万円
○ 町の紹介ビデオの制作費用	1,512 万円
○ 「新幹線名店街」・広島ブランド ショップTAU での町のPR及び筆づくり体験事業に対する助成	800 万円
○ 絵本等の購入	1,020 万円

